

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

唐津市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

佐賀県唐津市

3 地域再生計画の区域

佐賀県唐津市の全域

4 地域再生計画の目標

唐津市の人口は、昭和 55 年に 142,224 人であった人口が、平成 27 年には 122,785 人まで減少しており、国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 47 年に 73,444 人（平成 27 年比 約 47.9%減）になると推計されている。

自然増減については、出生率が低下し、2002 年以降、死亡数の増加が出生数を上回る自然減に転じている。社会増減については、高校及び大学の卒業時期にあたる年代を中心とした転出による社会減が進行し、特に隣接する福岡都市圏への転出が顕著である。

年齢 3 区分別人口構成比をみると、2000 年に老年人口比が年少人口比を上回って以降、少子高齢化が進み、2010 年には 4 人に 1 人が高齢者となっている。2060 年には年少人口及び生産年齢人口の占める割合はさらに減少し、3 人に 1 人以上が高齢者という時代が到来する。

少子化は将来的な労働力の減少や地域コミュニティの弱体化などをもたらし、経済規模の縮小にもつながると予測されている。

また、高齢化の進行に伴い、労働力人口が減少し、非労働者人口が増加傾向にある。労働力不足は、税収の減少や個人消費の減少など、地域経済への影響も大きくなるため、女性の社会進出の促進も踏まえた雇用環境の整備が必要となっている。

これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標に掲げ、次の時代への持続可能な社会の実現と新たな時代に呼応する魅力的な「唐津」の創造に、全力で取り組

んでいく。

- ・基本目標 1 多様な産業の調和による「しごと」の創生
- ・基本目標 2 地域資源の輝きが生み出す「ひとの流れ」の創生
- ・基本目標 3 若い世代の希望実現による「みらい」の創生
- ・基本目標 4 市民の力を最大限に引き出す「まち」の創生

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	第一次産業新規就業者数（累計）	58人	185人	基本目標 1
	市が支援した新規創業者数（累計）	15人	60人	基本目標 1
	商店街の営業店舗数	338店舗	341店舗	基本目標 1
	地域の個性を活かした生産・サービスの創業（企業誘致）（累計）	1 件	5 件	基本目標 1
イ	市外転出学生が唐津に戻りたいと考える割合	40%	60%	基本目標2
	市内への年間宿泊客数	46.7万人	50万人	基本目標2
	市内外国人宿泊客数	47,000人	50,000人	基本目標2
	唐津への移住を検討してもよいと考える人の割合	16.5%	20%	基本目標2
ウ	出会いの場への参加者数（累計）	156人	400人	基本目標3
	妊娠・出産について満足している市民の割合	81.1%	85%	基本目標3
	1歳6ヶ月検診の受診率	97.7%	98%	基本目標3
	唐津で子育てしたいと思う	96.2%	98%	基本目標3

	親の割合			
	男女共同参画の推進に取り組む事業所数	28事業所	43事業所	基本目標3
エ	唐津は住みやすいと感じる市民の割合	70.2%	86%	基本目標4
	自主防災組織の新規設置数	70組織	85組織	基本目標4
	市が支援する新規地域づくり活動件数（累計）	10件	30件	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

唐津市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 多様な産業の調和による「しごと」の創生事業

イ 地域資源の輝きが生み出す「ひとの流れ」の創生事業

ウ 若い世代の希望実現による「みらい」の創生事業

エ 市民の力を最大限に引き出す「まち」の創生事業

② 事業の内容

ア 多様な産業の調和による「しごと」の創生事業

若者や子どもが地域に定住でき、生き生きと働ける社会の構築を目指して、本市の特徴でもある就業比率の高い農業や漁業を中心とした産業への就業を促す取り組みのほか、多様な産業での担い手育成や販売力強化、新規創業支援に取り組む事業。

また、農水商工連携を推進させるとともに、地場産業などの知的資源、

地域資本、人材、自然環境など「地域資源」を最大限に活用し、コスメティック産業など新分野への進出に取り組むなど、ゆるぎない地域経済の発展に資する事業。

【具体的な取組】

- ・新規就業者の所得確保に向けた支援事業
- ・農・漁業者の経営安定のための事業
- ・地域産品のブランド化事業
- ・新規創業者支援事業 等

イ 地域資源の輝きが生み出す「ひとの流れ」の創生事業

本市で生み出す雇用を、潜在的移住希望者による地方移住・定着に結びつける事業のほか、本市の持つ観光、スポーツ、文化遺産等、さまざまな地域資源や地域力に磨きをかけて、まずは、国内外からの交流人口を増加させる取り組みを行うとともに、首都圏等から本市への移住など本市への新しい「ひと」の流れを創出する事業。

【具体的な取組】

- ・地域に根差した伝統・文化の継承事業
- ・東京2020オリンピックや国際スポーツ大会等のスポーツイベント事業を通じた交流事業や拠点整備
- ・観光産業をはじめとした地域資源の新たな魅力を創出する事業 等

ウ 若い世代の希望実現による「みらい」の創生事業

唐津が将来にわたって唐津であり続けるため、地域の宝である次代を担う子どもたちを育むことが重要であり、子育て世代が抱える不安を少なくするため、地域と一体となって、結婚・出産・育児に関する切れ目のない支援が必要になる。そのため、結婚を望む男女の出会いの場の創出支援のほか、安心して妊娠・出産できる環境を維持しながら、子育てに関する不安や悩みを解消し、子どもたちの健やかな成長を支える体制の充実に取り組む事業。さらに、仕事と子育ての両立が実現できる職場環境づくりに取り組む事業。

【具体的な取組】・移住定住促進につながる出会いの場の創出等の婚活事業

- ・不妊治療の助成や妊産婦・乳幼児に対する支援事業
- ・子育て世代に対する不安解消と少子化対策事業 等

エ 市民の力を最大限に引き出す「まち」の創生事業

人口減少によって生活サービス機能を維持することが困難となることが懸念されるため、地域における生活サービス機能の集約を図りながら、生活利便性を維持するための取り組みを図るとともに、ふるさとの価値を再認識することによって時代に合った地域をつくるため、自主的、自発的に地域の問題解決に取り組む地域コミュニティ活動の活性化を図る事業。

【具体的な取組】

- ・地域公共交通事業の充実、ネットワークの構築
- ・歴史的建造物や文化遺産資源の保存活用事業 等

※なお、詳細は唐津市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,430,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度11月に唐津市創生会議委員を中心とした会議体において検証する。
検証後速やかに唐津市公式WEBサイト上で公表する。

（外部組織の参画者）

唐津商工会議所等商工団体、唐津観光協会、旅館協同組合、飲料業協同組合、農業協同組合、漁業協同組合、九州大学、佐賀大学、佐賀銀行、信用金庫など

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで